

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	点滴ルート自己抜針予防 ～アームカバーを用いて～
研究責任者 (所属科名)	北5病棟 循環器内科・心臓血管外科・糖尿病内科 看護師：森下 敏子
本研究の目的・意義	<p>認知症やせん妄患者の点滴ルート自己抜去予として伸縮性包帯による保護を行っている。しかし点滴治療の必要性が理解出来ず自己抜去が繰り返されている現状がある。また浮腫のある患者には圧迫による皮膚トラブルの発生など適さない場合がある。アームカバーは、拘束感が少なく患者に不快感を与えない、自然な形で目隠し効果があり、着脱が容易で、点滴刺入部の観察がしやすいため点滴ルート自己抜去予防策として有効ではないかと推測されるため当病棟の導入を行う。</p> <p>今回アームカバー導入が点滴自己抜去に有効であったか、導入前後で看護師へアンケートを施行し比較検討することで、アームカバーが皮膚トラブルの早期発見に有効であるか検討する。</p>
調査方法・研究期間	<p>量的記述的研究</p> <p>調査方法：アンケートと評価表の年齢・性別・看護記録の内容などデータを比較検討する</p> <p>調査期間（データ収集期間）：2020年8月～2020年10月予定</p> <p>研究期間：倫理委員会承認から2021年2月まで</p>
該当資料・データ	2020年8月～2020年10月までに安佐市民病院北5病棟へ入院された、認知症やせん妄で点滴自己抜去の可能性のある方
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者様を直接特定出来る個人情報には削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しませんが、必要である時のみ年齢層・性別のみ公開させていただきますが、〇歳代と記載することで対応表作成し匿名化を行います。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	なし
お問い合わせ先	<p>電話：082-815-5211（代表）</p> <p>担当者：森下 敏子（北5病棟 看護師）</p>
備考	